



東京スカイツリータウン®で写経体験！精進料理も！
「比叡山から始まる一ゆかりの『寺たび展』」初開催
比叡山延暦寺、日光山輪王寺、金龍山浅草寺の魅力を発信

期間：2013年7月12日（金）～17日（水）

場所：東京ソラマチ®5F 「スペース634」

比叡山振興会議（本部：滋賀県大津市 会長：武 覚超）、京阪電気鉄道株式会社（本社：大阪市中央区 社長：加藤好文）、および東武トラベル株式会社（本社：東京都墨田区 社長：森岡賢）は、比叡山延暦寺や日光山輪王寺、金龍山浅草寺の魅力に触れていただく展示・体験会「比叡山から始まる一ゆかりの『寺たび展』」を東京ソラマチ5階の「スペース634」にて2013年7月12日（金）から17日（水）まで期間限定で初開催いたします。

■三世天台座主「慈覚大師円仁」の遺忌を機に初開催

本年は、三世天台座主で、日本で初めて大師号を諡号された慈覚大師円仁の1150年の遺忌※にあたります。これを機に慈覚大師円仁に縁のある比叡山延暦寺や日光山輪王寺、金龍山浅草寺の魅力をお伝えするために各寺院の協力により当催事を初めて開催いたします。情報の案内だけでなく、その一部を体験いただき「新しい価値」を提供する内容です。

※仏教諸宗派で、祖師などの五十年忌のち、50年ごとに遺徳を追慕して行う法会。

■延暦寺の写経を東京スカイツリータウンで体験！

イベントスペース内では、延暦寺で千年来行われている写経の体験ができ、雰囲気ある専用スペースで延暦寺の僧侶が写経の際の心得や作法などを直接指導いたします。普段はなかなか接することのない僧侶とのひと時の交流を楽しめます。完成した写経は、持ち帰ることができます。また延暦寺へ奉納（1,000円）もできます。

■比叡山や日光山、金龍山のお寺を紹介する展示

大師円仁の生涯や遣唐使としての足跡を大型パネルで展示、比叡山延暦寺、日光山輪王寺、金龍山浅草寺を紹介するパネル展示や大型ビジョンによる映像放映も行います。また、各寺院へのアクセス詳細や、周辺観光情報の展示・パンフレットの設置も行い、各エリアの魅力を感ずることができる内容となっています。さらに、多くの人々とお寺を結ぶ、お寺と旅のポータルサイト“てら旅美人 tera-tabibito”（運営：東武トラベル株）のご紹介もいたします。

■精進料理をベースにしたヘルシーなオリジナル料理が登場

東京ソラマチでは開催期間中、精進料理をベースにした限定料理が楽しめます。7Fの「そらまち亭」ではオリジナルの本格的な「精進弁当」を、6Fの「うまやの楽屋」では人気NO.1メニューの楽屋めしをアレンジした「精進楽屋めし」、7Fの「天ぷら 新宿 つな八」では季節の野菜天ぷらを楽しめる「精進膳」の販売を行います。また、その他、7Fの「小松庵 総本家」や31Fの「國見」も参加予定です。精進料理は日本の懐石料理の起源といわれています。野菜などの素材を活かしたヘルシーさを受け、女性注目の料理です。

別会場イベント

◆うえはらぎょうしやうだいあじやり上原行照大阿闍梨による法話とお加持(事前予約制)

内 容:北嶺大行満 上原行照大阿闍梨による法話とお加持
 日 時:7月14日(日)14:00～15:30
 会 場:浅草寺普門会館
 入 場 料:無 料
 定 員:着席最大 100 名
 参加方法:特設ウェブサイト(<http://teratabiten.jp/>)にて事前受付。
 (受付締切日:7月7日)詳細はサイトをご覧ください。
 ※応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。



◆つゆ まるこ露の団姫高座

内 容:天台宗の僧侶でもある落語家露の団姫による高座
 日 時:7月15日(月・祝)①12:00～ ②13:00 ※各 30 分予定
 ※15日 15 時頃から、スペース 634 でもトークショーを予定。
 会 場:東京ソラマチ 7F「そらまち亭」
 入 場 料:無 料 ※飲食代が別途かかります。
 ご 注 意:通常営業中の高座となりますので、満席の場合のご参加で
 きません。詳細は特設ウェブサイトをご覧ください。



関連観光協会によるPRについて

◆京都の舞妓さんや京都タワー・びわ湖大津・日光のゆるキャラがスカイアリーナに勢揃い

日 時:7月13日(土)
 場 所:東京スカイツリータウン4F・スカイアリーナ

◆I LOVE ニッポン 全国観光 PR コーナー(東京スカイツリー®5F 出口フロア)にて観光PR

京都市観光協会・びわ湖大津観光協会 : 7月8日(月)～14日(日)
 日光市・日光地区観光協会連合会 : 7月15日(月・祝)～21日(日)

<「比叡山から始まる—ゆかりの『寺たび展』」実施概要>

イベント名	比叡山から始まる—ゆかりの『寺たび展』
開催期間	2013年7月12日(金)～17日(水) 11:00～20:00 ※最終日は16:00まで
実施場所	東京都墨田区押上 1-1-2 東京ソラマチ 5F 「スペース 634」 <別会場イベント> 浅草寺普門会館、東京ソラマチ 7F「そらまち亭」 <精進料理 参加店舗> 東京ソラマチ 6F「うまやの楽屋」、7F「そらまち亭」、「天ぷら 新宿 つな八」、 7F「小松庵 総本家」、31F「國見」
アクセス	①とうきょうスカイツリー駅すぐ(東武スカイツリーライン) ②押上(スカイツリー前)駅すぐ(東武スカイツリーライン/都営浅草線/東京メトロ半蔵門線/京成押上線)
主催	比叡山振興会議、京阪電気鉄道株式会社、東武トラベル株式会社
共催	比叡山延暦寺
後援	東武鉄道株式会社
協力	日光山輪王寺、金龍山浅草寺
内容	パネル展示、写経体験、レストランでの関連メニュー販売(有料)
料金	入場・写経体験無料 ※写経を奉納する際は奉納料(1,000円)をいただきます。
特設サイト	http://teratabiten.jp/ ※6月11日より

【参考資料】

◆慈覚大師円仁

円仁は、延暦13年(西暦794年)下野国都賀郡(栃木県下都賀郡)の豪族・壬生氏に生まれ、15歳で比叡山に登って伝教大師最澄の弟子となった。

承和5年(西暦838年)遣唐船で唐に渡り、山東省の赤山法華院や福建省の開元寺、中国仏教三大霊山に数えられる五台山で修行。在唐9年間の紀行を日記「入唐求法巡礼行記」全4巻にまとめ、帰国後、当時の中国の有様を克明に伝えた。当書は、世界三大旅行記として高く評価されている。

帰国後、円仁は朝廷の信任を得、61歳の時に延暦寺の座主(江戸期までの大寺の住職の公称)となった。貞観6年(西暦864年)に71歳で没した。その2年後、生前の業績を称えられ、日本で初の大師号・慈覚大師の諡号(しごう)が授けられた。

◆比叡山延暦寺

滋賀県、大津市にある標高848mの比叡山全域を境内とする、天台宗の総本山。

延暦7(西暦788)年、伝教大師・最澄により薬師如来を本尊とする一乗止観院(現在の総本堂・根本中堂)が創建されたことに起源を持つ。さらに、鎌倉時代以降には日本仏教各宗各派の祖師を育み、現在も日本仏教の母山と仰がれている。元亀2(西暦1571)年、織田信長による焼き討ちを受けたが、その後、豊臣秀吉や徳川家の外護や慈眼大師天海大僧正の尽力により再興され、現在に至る。昭和62年以降、世界から七大宗教の代表者が集まり、世界平和実現のため対話と祈りを行う「世界宗教サミット—世界宗教者平和の祈りの集い—」を毎年開催している。

平成6年にはユネスコの「世界文化遺産」に登録された。

ホームページ:<http://www.hieizan.or.jp/>

◆日光山輪王寺

栃木県日光市の日光山内にある天台宗の寺院。

本堂・大猷院・慈眼堂・常行堂・中禅寺・護法天堂・四本龍寺等のお堂や本坊、さらに十五の支院を統合して出来ており、その全体を指して輪王寺と総称する。天平神護2(西暦766)年に勝道上人により開山され、以来、平安時代には慈覚大師円仁が来山し御堂の建立をされている。鎌倉時代には源頼朝公の寄進などにより関東の一大霊場として栄え、さらに江戸時代には徳川家康公の東照宮や、三代将軍家光公の大猷院廟が建立され、日光山の大本堂である三仏堂と共にその威容を今に伝えている。

平成11年にはユネスコの「世界文化遺産」に登録された。

ホームページ:<http://rinnoji.or.jp/>

◆金龍山浅草寺

東京都台東区にある天台宗の流れを汲む聖観音宗の総本山。

飛鳥時代、推古天皇36(西暦628)年、檜前浜成・竹成の兄弟が江戸浦(現・隅田川)で感得した観音像を、土地の長である土師中知が拝し、自宅を寺に改め、礼拝供養をはじめたのが起源とされる。平安初期には慈覚大師円仁が来山され、お前立のご本尊を謹刻された。鎌倉時代に将軍源頼朝公の篤い帰依を受けた浅草寺は、以来歴史上有名な武将らの信仰を集め、江戸時代の初めに徳川家康公によって幕府の祈願所と定められ、江戸文化の中心として大きく繁栄した。東京都内最古の寺院である浅草寺は、「浅草観音」の名称で全国的に親しまれ、年間のべ約3000万人もの参詣者がおとずれる、民衆信仰の中心地となっている。

ホームページ:<http://www.senso-ji.jp/>

◆比叡山振興会議

比叡山延暦寺をはじめ京阪電気鉄道株式会社、京福電気鉄道株式会社など比叡山に係る事業者12者で比叡山観光の振興を目的として平成元年に組織された団体。

会長は、武 覚超 比叡山延暦寺執行、議長は、脇 博一 京阪電気鉄道株式会社取締役専務執行役員。ポスター、パンフレット、ホームページ等での情報発信や比叡山への誘客行事などを行っている。

ホームページ：<http://www.hieizan.gr.jp/>

読者・視聴者からのお問合せ

開設期間 2013年6月11日(火)～7月17日(水)

TEL:03-5434-8524

メール:teratabiten@jtbcom.co.jp

受付時間 10:00～18:00(土日祝祭日を除く)※イベント期間中は受付可